

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

2回戦		石巻市民球場		2時間 20分				打安点盗犠四三残失併							
大館桂桜	2 0 2	0 0 0	0 0 2	6	【大】	37	13	6	0	2	2	3	8	4	1
聖和学園	0 0 1	2 0 0	0 1 0	4	【聖】	32	7	4	1	3	4	8	8	1	0
(球)	布田秀斗	(一)	佐藤拓哉	(二)	西城皇祐	(三)	小倉貴仁								
【大】	福田	—	小林廉												
【聖】	阿部航大①	—	沼田												
▽暴投	阿部航大①(聖)1	▽捕逸	なし												
		▽本塁打	なし												
		▽三塁打	柳谷(大), 船岡(聖)												
		▽二塁打	柳谷, 福田 (大)												
			なし (聖)												

【評】

ライトからレフト方向に強風が吹く中での試合は、大館桂桜が粘る聖和学園を振り切った。大館桂桜は初回、柳谷の3塁打で2点を先制、さらに3回にも4・5・6番の3連打で2点を追加し主導権を握った。聖和学園は1点差の8回、船岡の3塁打を足掛かりに同点に迫り粘りを見せたが9回に勝ち越しを許した。大館桂桜の先発、福田は粘りの投球で148球完投。

2回戦		仙台市民球場		1時間 45分				打安点盗犠四三残失併							
八工大	2 0 0	2 3 0	0	7	【八】	27	9	6	1	4	3	3	6	0	0
酒田南	0 0 0	0 0 0	0	0	【酒】	24	3	0	0	0	2	8	5	2	0
(球)	水戸恭平	(一)	三浦 徹	(二)	菅原 幸	(三)	藤村一也								
【八】	廣野	—	葛西												
【酒】	田村、阿部勇	—	神原												
▽暴投	田村1(酒)	▽捕逸	神原1(酒)												
		▽本塁打	なし												
		▽三塁打	館(八)												
		▽二塁打	なし (八)												
			須藤、田村 (酒)												

【評】

八工大は右腕廣野、酒田南は右腕田村の両エースの先発。八工大は1回表二死から3番砂の中前打と4番葛西の遊撃内野安打で1・2塁とし5番館の四球が暴投になる間に砂がホームインし先制した。さらに6番工藤の投手横へのバントヒットで2点目を加えた。続く4回にも館の右中間3塁打と工藤の四球、7番中田の3塁へのバントヒットで3点目、8番廣野の犠打と9番田中の犠打で4点目を奪い試合の主導権を握った。5回にはショートフライの落球と3塁手のエラーを足掛かりに葛西の中前打と館の右前打に工藤、中田の犠打を2つ絡めて3点を奪い、酒田南を突き放した。八工大の廣野は伸びのある直球を主体に8三振を奪う力投で、3塁を踏ませぬ散発3安打、7回コールド完封勝利で準々決勝進出を決めた。

2回戦		仙台市民球場		2時間 10分				打安点盗犠四三残失併							
盛岡大附	0 0 1	0 0 1	1 0 1	4	【盛】	29	5	4	1	1	5	9	4	2	0
仙台育英	0 0 3	2 1 1	0 0 x	7	【仙】	29	9	5	3	2	3	3	3	0	2
(球)	武田 徹	(一)	布田秀斗	(二)	新野祥平	(三)	西城皇祐								
【盛】	武石, 川中, 小野寺	—	吉田												
【仙】	小林, 齋藤, 田中	—	尾形												
▽暴投	武石1(盛), 齋藤1(仙)	▽捕逸	なし												
		▽本塁打	船生, 中沢(盛)												
		▽三塁打	なし												
		▽二塁打	大里 (盛)												
			尾形 (仙)												

【評】

両先発が立ち上がり良く、2回まで両チーム無得点。3回表、盛岡大付は四球の走者を置いて9番大里がライト越えに先制タイムリーツーベースを放つ。3回裏、仙台育英は1アウトから9番橋本が初ヒットで出塁すると盗塁と捕手の悪送球、ワイルドピッチで同点。その後、3番岡田、4番遠藤の連続タイムリーで1対3と逆転する。仙台育英は機動力を絡めながら勝負強い打撃で追加点を重ね5回を終わって1対6とリードを広げる。盛岡大付は6回に3番船生のソロホームラン、7回には4番中沢のソロホームランで反撃するが4対7で仙台育英が準々決勝へ進出した。

2回戦		仙台市民球場		2時間 51分				打安点盗犠四三残失併							
鶴岡東	0 0 0	0 0 0	2 0 0	2	【鶴】	34	8	1	0	1	5	10	11	1	0
青森山田	0 0 0	0 1 0	0 0 2x	3	【青】	29	6	2	3	4	9	9	13	2	1
(球)	佐藤 圭	(一)	加藤正弘	(二)	森山宏則	(三)	福田好伸								
【鶴】	矢部, 佐藤一	—	土屋												
【青】	堀内, 相馬, 山村	—	衛藤, 鈴木												
▽暴投	矢部1(鶴), 堀内1(青)	▽捕逸	なし												
		▽本塁打	なし												
		▽三塁打	なし												
		▽二塁打	なし (鶴)												
			久永 (青)												

【評】

両チーム投手の粘投により、接戦となった第2試合は相手投手の暴投で5回裏に1点を先制した青森山田であったが、粘り強さを見せる、鶴岡東が7回表2アウト満塁から、4番前田の適時内野安打と敵失策で逆転に成功した。2-1とリードを許した青森山田は9回裏の最終回、1番佐々木・2番久永の連打で好機を作り犠打と四球で1アウト満塁とし6番山田への死球で同点、7番向中野のライト犠飛で2時間51分の激戦にサヨナラ勝ちを収めた。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第1日目 10月20日(水)

2回戦	石巻市民球場	2時間	20分		
大館桂桜	2 0 2	0 0 0	0 0 2	6	【大】 打安点盗犠四三残失併
聖和学園	0 0 1	2 0 0	0 1 0	4	【聖】 37 13 6 0 2 2 3 8 4 1

(球) 布田秀斗 (一) 佐藤拓哉 (二) 西城皇祐 (三) 小倉貴仁
 【大】 福田 二 小林廉
 【聖】 阿部航大① 沼田
 ▽暴投 阿部航大①(聖)1 ▽捕逸 なし
 ▽本塁打 なし
 ▽三塁打 柳谷(大), 船岡(聖)
 ▽二塁打 柳谷, 福田 (大) なし (聖)

【大館桂桜】		打数	安打	打点
(中)	石倉大翔	5	1	0
(捕)	小林廉	4	3	0
(投)	福田春輝	5	2	2
(二)	柳澤風也	5	1	0
(右)	柳谷運	5	3	3
(一)	山内佑真	3	1	1
(二)	石戸谷稔	3	0	0
(遊)	高清水稔	4	2	0
(左)	高橋誠河	3	0	0

【聖和学園】		打数	安打	打点
(遊)	佐藤大広	4	0	0
(二)	齋藤隼人	5	0	1
(三)	山内海聖	5	2	0
(中)	駒井志生	2	0	0
走中右	佐々木禪	1	0	0
(左)	船岡陽	4	3	0
(右)	石丸最強	2	0	0
打	高橋拓英	1	1	1
走	高橋瑛士	0	0	0
中	菊田晴空	0	0	0
(一)	大久保蓮	3	1	2
(捕)	沼田明日翔	3	0	0
(投)	阿部航大	2	0	0

投手名	打数	投球回	投球	ストライク	ボール	三振	四球	死球	暴投	ノーアウト	失点	自責点		
福田春輝	32	148	9	0	7	0	3	0	8	3	1	0	4	3

投手名	打数	投球回	投球	ストライク	ボール	三振	四球	死球	暴投	ノーアウト	失点	自責点		
阿部航大	37	128	9	0	13	0	2	0	3	1	1	0	6	4

【評】 ライトからレフト方向に強風が吹く中での試合は、大館桂桜が粘る聖和学園を振り切った。

大館桂桜は初回、柳谷の3塁打で2点を先制、さらに3回にも4・5・6番の3連打で2点を追加し主導権を握った。

聖和学園は1点差の8回、船岡の3塁打を足掛かりに同点に追いつく粘りを見せたが9回に勝ち越しを許した。

大館桂桜の先発、福田は粘りの投球で148球完投。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第1日目 10月20日(水)

2回戦 仙台市民球場 1時間 45分
 八工大 南 2 0 0 0 2 3 0 0 0 7 0
 酒田南 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

【八】 打 安 点 盗 犠 四 三 残 失 併
 【八】 27 9 6 1 4 3 3 6 0 0
 【酒】 24 3 0 0 0 2 8 5 2 0
 (球) 水戸恭平 (一) 三浦 徹 (二) 菅原 幸 (三) 藤村一也 (7回コールド)
 【八】 廣野 二 葛西
 【酒】 田村、阿部勇 二 神原
 ▽暴投 田村1(酒) ▽捕逸 神原1(酒)
 ▽本塁打 なし
 ▽三塁打 館(八)
 ▽二塁打 なし 須藤、田村 (八)(酒)

【八工大一】		打数	安打	打点
(中)	須藤 廣尊	4	0	0
(二)	長谷地 輝	4	0	0
(遊)	砂 頼人	4	2	0
(捕)	葛西 遼	4	2	1
(一)	館 有 水	3	3	1
(右)	工藤 寛大	2	1	2
(二)	中田 聖弥	3	1	1
(投)	廣野 風雅	1	0	0
(左)	田中 志信	2	0	1

【酒田南】		打数	安打	打点
(二)	桐花 幸甫	3	0	0
(中)	黒川 琉唯	3	1	0
(遊)	西田 彰牙	3	0	0
(左)	甲 圭 佑	3	0	0
(右)投	阿部 勇翔	3	0	0
(投)右	田村 朋輝	2	1	0
走	植松 功大	0	0	0
(一)	細島 迅刀	2	0	0
(二)	須藤 仁	3	1	0
(捕)	神原 健人	2	0	0

投手名	打数	投球数	四球	三振	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
廣野 風雅	24	102	7	0	3	0	0	8	1

投手名	打数	投球数	四球	三振	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
田村 朋輝	20	102	5	0	8	0	4	0	3
阿部 勇翔	7	25	2	0	1	0	0	0	0

【評】
 八工大は右腕廣野、酒田南は右腕田村の両エースの先発。八工大は1回表二死から3番砂の中前打と4番葛西の遊撃内野安打で1・2塁とし5番館の四球が暴投になる間に砂がホームインし先制した。さらに6番工藤の投手横へのバントヒットで2点目を加えた。続く4回にも館の右中間3塁打と工藤の四球、7番中田の3塁へのバントヒットで3点目、8番廣野の犠打と9番中田の犠打で4点目を奪い試合の主導権を握った。5回にはショートフライの落球と3塁手のエラーを足掛かりに葛西の中前打と館の右前打に工藤、中田の犠打を2つ絡めて3点を奪い、酒田南を突き放した。
 八工大の廣野は伸びのある直球を主体に8三振を奪う力投で、3塁を踏ませぬ散発3安打、7回コールド完封勝利で準々決勝進出を決めた。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第2日目

10月21日(木)

2回戦 盛岡大附 仙台市民球場 2時間 10分

盛岡大附	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	4
仙台育英	0	0	3	2	1	1	0	0	x	7	

【盛】	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【盛】	29	5	4	1	1	5	9	4	2	0
【仙】	29	9	5	3	2	3	3	3	0	2

(球) 武田 徹 (一) 布田秀斗 (二) 新野祥平 (三) 西城皇祐
 【盛】 武石, 川中, 小野寺
 【仙】 小林, 斎藤, 田中
 ▽暴投 武石1(盛), 斎藤1(仙) ▽捕逸 なし

▽本塁打 船生, 中沢(盛)
 ▽三塁打 なし
 ▽二塁打 大里 (盛) 尾形 (仙)

【盛岡大附】		打数	安打	打点
(一)	佐藤 洋輔	4	1	0
(遊)	伊藤 新太	4	0	0
(中)	船生 裕斗	3	1	1
(左)	中沢 舟汰	4	1	1
(二)	斐田 由庵	3	0	0
(右)	今野 悟	3	1	0
(捕)	吉田 羅	2	0	0
(投)	武石 圭哉	1	0	0
打	今村 滯朋	1	0	0
投	川中 翔斗	0	0	0
打	高橋 佳大	0	0	1
投	小野寺 琉希	0	0	0
打	高橋 亜健	1	0	0
(二)	大里 侑平	3	1	1

【仙台育英】		打数	安打	打点
(一)	秋 元 響	4	1	1
(左)	齋藤 陽	3	1	0
(一)	岡田 大成	3	2	1
(右)	遠藤 太胡	3	1	2
(二)	洞口 優人	3	0	0
(捕)	尾形 樹人	4	2	0
(遊)	山田 脩也	4	1	0
(投)	小林 寛大	0	0	0
打	梶 威人	1	0	0
投	斎藤 容	2	0	0
投	田中 優飛	0	0	0
(中)	橋本 航河	2	1	1
中	藤井 一太	0	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	四球	三振	死球	暴投	バント	失点	自責点
武石 圭哉	15	81	4	0	6	0	1	0	2	2	5
川中 翔斗	8	37	2	0	3	0	0	1	0	0	2
小野寺 琉希	6	19	2	0	0	0	0	1	0	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	四球	三振	死球	暴投	バント	失点	自責点
小林 寛大	10	35	3	0	2	0	0	0	2	1	1
斎藤 容	15	74	5	0	1	1	0	1	7	2	2
田中 優飛	4	22	1	0	2	1	0	0	0	1	1

【評】

両先発が立ち上がり良く、2回まで両チーム無得点。3回表、盛岡大付は四球の走者を置いて9番大里がライト越えに先制タイムリーツーベースを放つ。3回裏、仙台育英は1アウトから9番橋本が初ヒットで出塁すると盗塁と捕手の悪送球、ワイルドピッチで同点。その後、3番岡田、4番遠藤の連続タイムリーで1対3と逆転する。仙台育英は機動力を絡めながら勝負強い打撃で追加点を重ね5回を終わって1対6とリードを広げる。

盛岡大付は6回に3番船生のソロホームラン、7回には4番中沢のソロホームランで反撃するが4対7で仙台育英が準々決勝へ進出した。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第2日目 10月21日(木)

2回戦 仙台市民球場 1時間 28分
 能代松陽 2 3 0 6 0 | 11 | 0
 久慈東 0 0 0 0 0 | 0 | 0

【能代松陽】 打安点盗犠四三残失併
 【久慈東】 28 12 11 7 1 5 1 8 0 0
 20 5 0 1 0 1 7 6 2 0

(球) 毛利 晃 (一) 野田 学 (二) 浅野雅訓 (三) 山下大輔 (5回コールド)
 【能代松陽】 三浦, 森岡 (捕) 田中
 【久慈東】 高橋, 玉沢, 浅水 (捕) 谷地中
 ▽暴投 森岡1(能) ▽捕逸 なし ▽本塁打 なし
 ▽三塁打 なし
 ▽二塁打 田中, 紀本 (能) 笠嶋 (久)

【能代松陽】	打数	安打	打点
(二) 大高 有生	2	1	1
(中) 淡路 建司	4	1	0
右 浅利 一輝	0	0	0
(捕) 田中 元輝	4	2	3
(左) 加賀谷 恭	3	2	1
走左 佐藤 大	0	0	0
(二) 相澤 海大	3	0	0
(投) 三浦 凌輔	2	1	1
打二 齋藤 舜介	1	1	0
(右) 中 紀本 知希	4	1	3
(一) 梶澤 心文	3	2	1
投 森岡 大智	0	0	0
(遊) 保坂 大悟	2	1	1

【久慈東】	打数	安打	打点
(三) 川端 海輝	3	2	0
(右) 山形 海渡	3	0	0
(捕) 谷地中 豊生	3	0	0
(一) 村上 瑛紀	2	0	0
(投) 高橋 桜介	1	0	0
投 玉沢 聖也	0	0	0
投 浅水 琉夢	1	1	0
(左) 笠嶋 勇登	2	2	0
(遊) 谷崎 佑成	2	0	0
(二) 龍石 潤綾	1	0	0
一 谷地 瑠輝也	1	0	0
(中) 乱場 瑛仁	1	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	四球	三振	死球	暴投	バント	失点	自責点
三浦 凌輔	16	56	4	0	4	0	0	0	0	0	0
森岡 大智	4	28	1	0	1	0	0	3	1	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	四球	三振	死球	暴投	バント	失点	自責点
高橋 桜介	12	54	2	0	5	0	1	0	0	1	5
玉沢 聖也	9	45	1	2	4	0	0	1	3	0	6
浅水 琉夢	7	25	1	1	3	0	0	0	1	0	0

【評】 序盤から巧打と足を絡めた積極的な攻撃で終始ゲームを支配した能代松陽が公立校対決を5回コールドで制した。投球をしたエース三浦を中心としたテンポの良い守備も安定していた。

久慈東は先発高橋が初回2アウトから先制を許し、その後も継投でなんとか流れを呼び込もうとしたが、5回3投手で5四球と制球に苦しみ、能代松陽の勢いを止めることができなかった。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第2日目 10月21日(木)

2回戦 石巻市民球場 2時間 11分
 東奥義塾 0 0 0 0 0 1 1 0 0 0 2
 聖光学院 0 0 0 0 0 1 0 2 0 X 3

【東】 打安点盗犠四三残失併
 32 8 2 0 2 4 7 9 1 1
 【聖】 26 5 2 0 3 2 6 4 0 0

(球) 加藤修一 (一) 菅原久 (二) 西山充 (三) 佐々木瞭太 (16:25点灯[右]遠見剛志[左]松浦茂樹)
 【東】 角田 二 後藤
 【聖】 佐山 二 山浅
 ▽暴投 角田1(東) ▽捕逸 なし
 ▽本塁打 なし
 ▽三塁打 中田歩(東)安田(聖)
 ▽二塁打 今泉,後藤2,高田(東)三好(聖)

【東奥義塾】		打数	安打	打点
(左)右	高田知希	5	2	0
(三)	中田歩夢	4	1	1
(投)	角田楓斗	3	0	0
(一)	今泉温友	3	1	0
(遊)	福士大翔	3	1	0
(中)	工藤有寿	3	0	0
(捕)	後藤大潤	3	2	1
(右)	木村駿介	2	0	0
打石	原田祥吾	2	1	0
(二)	高嶋叶夢	4	0	0

【聖光学院】		打数	安打	打点
(遊)	赤堀颯	3	0	0
(三)	生田目陽	4	1	0
(捕)	山浅龍之介	4	0	0
(右)	三好元氣	4	1	0
(中)	安田淳平	2	1	0
(左)	嶋田裕真	2	0	1
(一)	伊藤遥音	2	0	0
(二)	高中一樹	2	1	1
(投)	佐山未来	3	1	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	被安打	被本塁打	犠打	三振	四球	死球	暴投	ノーアウト	失点	自責点	
角田楓斗	26	124	8	0	5	0	3	0	6	1	1	1	0	3	2

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	被安打	被本塁打	犠打	三振	四球	死球	暴投	ノーアウト	失点	自責点	
佐山未来	32	143	9	0	8	0	2	0	7	2	2	0	0	2	2

【評】 福島第1代表の聖光学院と青森第3代表の東奥義塾の試合は1点を争う好ゲームとなった。同点の7回東奥義塾は1番高田、2番中田の連続長打で勝ち越しに成功。しかし、その裏聖光学院は4番三好の2塁打を足掛かりに6番嶋田のスライズで同点、8番高中のレフト前ヒットで逆転に成功した。8・9回の東奥義塾の攻撃を三者凡退に抑え、聖光学院が3-2で勝利。聖光学院の先発佐山は8安打されながらも要所を抑え143球完投。